

業 務 名 : 雪氷熱利用促進調査
 特定企業名 : 大日本ダイヤコンサルタント株式会社北海道支社
 住 所 : 札幌市北区北10条西2丁目13番地2
 代表者 : 支社長 土本 浩二
 決 定 日 : 令和7年4月24日

評価項目	評価の着目点		配点	企画提案者 大日本ダイヤコンサル タント(株)北海道支社	
	判断基準				
業務実績	過去10年間の同種業務の実績の内容・件数		数値化しない	要件を満たしている	
ワーク・ライフ・バランス等の 推進に関する指標の適合状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等(えるぼし・プラチナえるぼし認定企業、一般事業主行動計画策定企業)		① 5 ② 4 ③ 3 ④ 2 ⑤ 1	3	
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん・プラチナくるみん・トライくるみん認定企業)		① 5 ② 3 ③ 3 ④ 3 ⑤ 2		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定(ユースエール認定企業)		4		
	【※複数の認定等に該当する場合には、最も配点が高い区分により加点を行う。】				
業務実施体制	業務分担及び業務実施体制の妥当性		10	10	
予定管理技術者の経験及び能力	専門技術力	過去10年間の同種業務の実績の内容	平成27年度以降に同種業務の実績がない場合は特定しない。	数値化しない	要件を満たしている
	業務執行力				
予定担当技術者の経験及び能力	専門技術力	過去10年間の同種業務の実績の内容	平成27年度以降に同種業務の実績がない場合は特定しない。	数値化しない	要件を満たしている
	業務執行力				
実施方針・実施フロー・工程表	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	15	13
	実施手順		業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	15	10
特定テーマに対する企画提案 特定テーマ 「本業務特記仕様書第3条3(1)について、公表及び第三者の利用を前提とした場合におけるデータ整理を行う上での留意点」	的確性		着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するに当たって有効性が高い場合に優位に評価する。	15	12
	実現性		提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	15	12
参考見積	業務コストの妥当性		提示した業務規模を上回るか、又は提案内容に対して見積が不適切な場合には特定しない。	数値化しない	適切である
合 計			75	60	